



「しっかり発言、きちんと報告します」市政に関する、ご意見・要望をお聞かせください。メールアドレス kyousankaneko@yahoo.co.jp



内閣府（防災担当）では、地域で率先して防災活動を実践する人材の育成を目的とした「防災に関する地域防災リーダー育成事業」を実施するための取り組みを進めています。

市は、地域防災リーダー「1000人を目指す育成」

2月市議会で答弁



（金子）災害がいつ来てもおかしくない。地域防災リーダーの現状はどうなっているのか。育成強化に対する市の考え方を伺う。

（危機管理監）平成21年度から市が行つてい

る講座や訓練を多くの人に受講してもらうよう商大との包括協定の中で実施している。講座では防災に関するほか、AEDや消火器、機材の取り扱いの実技も行っている。受講者で希望する方を防災リーダーとして登録し（現在1

70人）、育成強化に努めている。今後、広く募集を検討し、地域で多くの方が防災活動の中心的役割を担つていただけるよう制度の見直しを進める。

目標数を決めて取り組むべき

（金子）防災リーダーは、松戸市では900人が登録し活動していると聞く。市も目標数を決めて、もつと増や

現状は170人の登録

2月市議会の一般質問で、私、金子は、地域防災リーダーの現状と育成強化、農地を避難場所として農家と協定を結ぶ考え方を問いました。



（危機管理監）今後、松戸市その他、他の自治体も参考にして防災リーダーが増える仕組みを考える。目標は一千人を考えて、若い人を増やすべきではないか。

すことも検討したい。

農家と防災協定の締結を

（金子）ハウス栽培農家の経営しているハウスを避難場所として利用してはどうか。農家と防災協定を締結する考え方はないか。

（危機管理監）冬季や雨天時に有効なものと認識しているが、その前提としては「防災協定を締結する必要がある。課題に対し、関係部署と十分に調整して慎重に対応していく。

6月市議会での金子貞作の一般質問

6月14日から6月市議会が行われます。私が提出する一般質問（答弁含め1時間）の項目は下記の予定です。ご意見をお寄せください。

（質問項目）

- (1) 就学援助の現状及び制度拡充について
- (2) 本市の介護給付費の適正対策の計画及び給付のチェック体制の現状について
- (3) 公園に居場所、東屋を設置する考えについて
- (4) 井戸水使用者の現状と水道にした場合の補助の考え方について
- (5) 難聴者支援の現状と拡充について
- (6) 大野町4丁目先市道0129と市道030の丁字路の安全対策について

※選挙中寄せられた市民の方々からの要望を取り上げます。

全国は一つ、日本共産党の支持を広げてください



無料法律相談会

【相談日】 【担当弁護士】

6月11日(火) 藤野 善夫

7月9日(火) 白井 幸男

午後2時から5時

【場所】 仮本庁舎です。

※相談を受けたい方は事前の予約が必要です。党市議か市役所（電話334-1111）共産党控室へご連絡ください。生活相談は、毎日受け付けています。党市議に気軽に相談してください。

暮らし応援！日本共産党「3つの提案」

政府の判断とは裏腹に日本経済の低迷は明らかです。今、必要なのは消費税増税ではなく、暮らしを応援する政治です。日本共産党は、暮らしに希望を届ける「3つの提案」（2019年5月22日）をしています。その概要をお知らせします。

8時間勤けば普通に暮らせる社会

一つは、8時間勤けば普通に暮らせる社会をつくることです。高齢者や中小企業への思い切った支援策をとりつつ、最低賃金（時給）をただちに全国一律100円に引き上げ、150円にめざします。

暮らしを支える社会保障を築く

二つめの提案は、暮らしを支える社会保障を築くことです。高齢者の国民健康保険税の「均等割」「平等割」を廃止し、大幅に引き下げます。国の制度として子どもの医療費の就学前までの無料化を実現します。その上で自治体の助成制度を前進させ、高校生まで医療費助成を推進します。

暮らしを支える社会で学び、子育て

三つめの提案は、お金の心配なく学び、子育てができる社会をつくることです。大学・専門学校の授業料を半減し、段階的に無償化します。低所得者に限られた政府案を見直し、70万人に月額3万円を支給する給付奨学金制度をつくり、すべての奨学生を無利子にします。学校給食の無償化をはじめ、憲法で定められていく義務教育の完全無償化を実現します。「幼児教育・保育の無償化」を消費税増税とともに、認可保育所の増設で待機児童を解消します。

暮らしに希望を3つの提案に必要な財源は

- ◎ 8時間勤ければ普通に暮らせる社会を 1.7兆円
- ◎ くらしを支える社会保障を 2.4兆円
- ◎ お金の心配なく学び、子育てができる社会 3.4兆円
- 合計 7.5兆円

こうすれば財源を確保することができます ↓

- ◎ 大企業優遇税制を是正し、中小企業並みの負担を求める 4兆円
- ◎ 富裕層優遇税制を是正する 3.1兆円
- ◎ 米軍への「思いやり予算」などの廃止 0.4兆円
- 合計 7.5兆円

▼ 大町自然公園で5月25日、「バラまつり」を開催。私の母校である第五中学校の吹奏楽部が素晴らしい演奏を披露してくれました。

編集後記

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

メール : kyousankaneko@yahoo.co.jp
連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)

